

よーい、どん！持てる力を出しきった！



下 諏 訪 ぎ が し

Vol.44

2024
6月定例会

特集

下諏訪町 **新** 体制! **新** 係

新 こども家庭センター

下諏訪の子育て支援
どう変わる?



総合文化
センター
工事請負
議会可決

こども家庭センターってなに？

今年度からこども家庭センターができたんだって！

へ～ なにするところなの？

子育てに困難を抱えている人が増えているから、その相談に乗ってもらえるんだって！

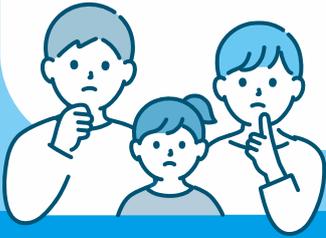
具体的にはどんなことが相談できるの？

妊産婦、子どもやその家庭の問題、ニーズを母子保健・児童福祉のそれぞれの専門の方が、包括的な支援をしてくれるそうだよ。高校生も大丈夫◎

なんでも相談していいの？

家族を含めた生活の悩みもね。どこに相談したら良いかわからない時も、話を聞いてアドバイスしてくれるんだって！

じつは、誰にも相談できない子育てで困っていることがあって...
まずは少し相談してみようかな...!!



住民環境課

R6年度から1係増に！

住民環境課では、今年度から生活環境係を環境衛生係と生活相談係に分割しました。住民生活に直結した多岐にわたる業務を迅速かつ丁寧な対応を可能にするためです。



環境衛生係

環境衛生係では、「ゼロカーボン推進室」を兼務しており、昨年度のゼロカーボンシティの実現に向けた事業の推進と、来年度から実施のプラスチックごみの分別回収への取り組みを進めています。プラスチックごみは、海洋環境に影響を与えるなど問題となっています。分別回収は、私たちにとって煩わしいと感じますが、私たちの未来にとって必要なことだと考えています。

生活相談係では、「なんでも相談室」を兼務しており、動植物・虫・土地・家屋に関する一般相談をはじめ通信販売に対する相談など消費者相談、相続などの法律相談の窓口も担っています。「なんでも相談」は、すでに4～6月で80件の相談が寄せられています。



生活相談係

下諏訪町 新体制！新係

教育こども課

下諏訪の子育て支援どう変わる？

新 こども家庭センター

今年度「こども家庭センター」の設置が市町村の努力義務とされ、子育て世帯に対する包括的な支援の体制強化のため設置されました。新しいセンターの立ち上げで忙しい中、矢崎センター長にインタビューに応じていただきました。

矢崎センター長へのインタビュー



町民の健康を担って26年、保健センターで保健師としても活躍されていて経験豊富な方というのが第一印象です。母子保健と児童福祉を統括して、妊産婦から18歳までを主に対象とするなど、難しい課題が山積していると語ります。子どもが自分らしくいられる環境づくりが大切で、子どもの幸せをまず考えるべきだと目を輝かせていました。

「こども家庭センター」では、家族を含めた生活に対する問題、子どもとのかかわり方の悩みやどこに相談したら良いかわからないときにも相談に来て欲しいとしています。スタッフはセンター長（保健師）、家庭相談員（保健師・保育士）2名、事務職員1名の4名体制となっており、日々多くの相談に応じています。継続的な相談が多いですが、相談先がわからない方に気軽に来てもらえるようにしたいとも話していました。



下諏訪町 教育こども課
こども家庭センター

TEL:0266-27-1111
(内線715)

議員が 注目の 議案！

16 議案を審議



詳しくは議会 HP へ

総合文化センター工事契約を可決 大ホール改修 R6年度で完了！

総合文化センター天井脱落防止対策等改修工事の建築主体工事は、JVによる共同施工方式にした理由を、大規模工事に加え、劇場という特殊な工事であり、高度な技術力が必要であることなどから最良と判断したとしています。

椅子の更新については、「あり方を検討する会議」の意見を踏まえ、新たに幅の広い椅子を互い違いに設置し、700席から628席になることが示されました。

電気設備工事では、舞台音響設備、照明設備のデジタル化により、電気料金を抑えられるとともに、今までできなかった様々な演出が可能となると説明され、誰もが使

え、発表することができ、利便性を高め、安心して活用ができるようにしたいとしています。



大ホールロビーでの椅子展示
幅の広い新しい椅子に！

専決

税条例改正など6議案を即決

交付税約1億4千万円増で1億円の基金積立

R5一般会計補正予算(第11号)をはじめ、定額減税等を行うための税条例の改正など6議案を審議。その中で、地方交付税の増額など剰余金が生じたことにより、公共施設整備基金に7千万円、地域開発整備基金に3千万円を積立ることができました。

専決処分とは？

本来議会の議決を経なければならぬ事項について、町長が地方自治法の規定に基づいて(特に緊急の場合など)議会の前に自ら処理すること。



文化センター大ホールの天井裏
危険な吊り天井から、安全な天井に！

海外研修を高校生に拡大

こども未来基金条例の改正は、海外研修事業について、今年度から中学生だけでなく、高校生まで対象を拡大する改正です。高校生は「向陽高校生または下諏訪町在住の高校生」が対象となります。海外研修はコロナの影響で実施できなかつたこと、しもすわ未来議会で要望もあり、拡大されることになりました。向陽高校生2名、下諏訪町在住の高校生2名の予定です。

今年度から オーストラリア ケアンズへ



新消防ポンプ車 6分団に配備



購入予定と同型積載車

下諏訪町消防団車両更新計画に従い、第6分団に小型動力ポンプ積載車及び小型動力ポンプを配備。山間地域における、山火事や自然災害に備え、初動体制の効率化を図ります。

国保マイナンバーカード システム改修に賛否両論



国民健康保険特別会計補正予算では、マイナンバーカードと健康保険

証の一体化のため3点のシステム改修を行うもので①「オンライン資格確認システム」情報が国保システムの情報と相違ないか定期的にチェックする仕組みの導入②「オンライン資格確認システム」に登録されている情報とマイナンバーを「加入者情報のお知らせ」として送るための改修③マイナンバーカードを持っていない方や持っていない方も保険証と紐づけていない方への「資格確認書」発行等に関する改修です。

反対意見 現行の保険証を廃止すれば、医療現場での混乱を招く。誤った紐づけも発生している。マイナ保険証を持たない方に不利益が生じる可能性がある。

賛成意見 国策に沿って、マイナンバーカードの利便性向上を目的としている。資格確認書の発行は必要。システム改修が行われない不具合や影響が大きい。

採決 賛成多数で可決されました。

R6年度一般会計補正予算 補正額約2億7千万円

県の地域発元気づくり支援金により、諏訪湖畔地区など2地区のグラウンドデザイン策定事業が進められることになりました。また児童手当制度の見直し・拡充により、児童手当の18歳までの拡充や所得制限撤廃などが図られました。

追加議案では、定額減税補足給付金事業などが行われました。

テニスコート防球フェンスも今年度中に改修されます。



テニスコート防球フェンス仮改修中

広報特別委員会視察報告

2024年4月17日▶18日

01

神奈川県 開成町議会



開成町議会は、全国に先駆けた先進的な広報広聴改革を行う議会です。「議会だよりを読む人がいるのか？」という率直な疑問から改革に着手し、冊子型からタブロイド型に大幅リニューアル。

情報補完として、議会の生きた情報発信のため、開成町議会WEBサイトやYouTubeを活用しており、動画撮影・編集も議員が行い発信しています。ペーパーレス化を背景としてデジタル化が進む先進議会でした。

02

埼玉県 小川町議会



小川町議会は、全国町村議会広報コンクールにて優秀賞を何度も受賞した広報の先進議会です。紙面内の住民登場面を増やし、より町民に親しみやすく、まず開いて見てもらえる議会だよりを目指す姿勢に、議会広報広聴への熱意が伝わってきました。

小川町は和紙の産地であるため、和紙漉きを体験させていただきました。議会だよりの表紙の背景には和紙の絵柄画像を用いています。

番外編

諏訪郡町村議会広報委員会交流会を開催



4月22日に下諏訪町役場にて、富士見町・原村・下諏訪町の、諏訪郡町村議会広報委員会交流会を4年ぶりに開催しました。交流会では、各議会の取り組みや課題への意見交換を行い、各議会ごとに工夫を凝らした議会だよりの住民参加拡大や広報活動だけでなく、より住民に身近な議会であるための広聴活動にも力をいれていることが報告されました。

下諏訪町議会も、今後さらなる広報広聴改革に力を入れて参りますので、よろしくお願いします。

歴史重ねる観桜会

岡谷市、長和町と下諏訪町の関係者による「観桜会」が、4月16日に大社通の食祭館で開かれました。新型コロナの影響で5年ぶりの開催となりましたが、S29年から始まり、今回で69回目を迎えた歴史ある交流会になりました。会場には3市町の商工業や観光、行政の関係者、そして諏訪市の観光関係者なども参加し、180人以上が集まりました。「観桜会」は下諏訪町と下諏訪観光協会が主催しており、例年は水月公園で開催されていましたが、雨天時の対応が難しいため、今年は屋内の会場に変更されました。



長和町との交流

長和町と下諏訪町は以前から交流があり、親交を深めています。昨年度は、長和町にある「星くずの里たかやま黒耀石体験ミュージアム」に伺い、黒耀石の体験プログラムや黒耀石の歴史が学べる、黒耀石鉱山展示室「星くそ館」を見学しました。さらに、長和町の2つの「道の駅」を視察し、観光についても学びました。今後も引き続きこのような勉強会等を行い、これからの交流の場を通して、議員同士の親交を深めていきます。



※長和町は黒耀石を、
下諏訪町は黒曜石を採用しています。

一般質問 12 の視点

「歩いて・見て・聴いた」こと「議員自身の提言」も交えて、町に考えを質す！

議員改選から一年が経ち、5回目の定例会。あらゆる町の課題に、議員一人一人の目線で、執行部と真剣な議論を展開。今後の町の動向にも注目！

P14	P14	P13	P13	P12	P12	P11	P11	P10	P10	P9	P9
不登校支援	地域の安全	温暖化対策	再犯防止	新観光開発	男女平等	チョイソコ	住民要望	2拠点居住	職場環境	農業振興	不登校支援

皆さんは
どのテーマに
関心が
ありますか？



各議員のQRコードから一般質問の録画映像を見ることができます。
スマートフォン等からアクセスして、ぜひご覧ください。
全質問項目は、下諏訪町ホームページから見ることができます。

下諏訪町議会
議会中継 
チャンネル



質問順

- 1 竹元 完奈
不登校児童家庭の負担減へ
- 2 松井 節夫
農地の利用状況は
- 3 金井 敬子
ハラスメント防止宣言を！

- 4 林 元夫
ワーキングスペース拡充を
- 5 花岡 進
コロナ医療費町独自補助を
- 6 野沢 弘子
利便性の高い交通手段を

- 7 青木 利子
女性課長の登用増は
- 8 大橋 和子
観光イベントの推進について
- 9 中山 透
再犯防止計画の策定時期は

- 10 林 吉広
ゼロカーボン進捗状況は
- 11 豊島 健之
山・川の安全と対策状況は
- 12 高橋 幸二
不登校生徒に対し支援策は

6月11日
6月12日

一般質問



不登校支援

たけもと かな
竹元 完奈



不登校児童家庭の負担減へ

答弁 社会や教育行政全体で対応が必要

Q 子どもの心身サポートなどにより、保護者が就労困難になる場合がある。不登校及び不登校傾向児童の、家庭への経済的負担を町はどう捉えるか。

A 教育長 不登校は、問題行動ではなく、どの児童生徒でも起こり得るものという認識。保護者への経済的負担が課題。個々家庭で対応すべき問題ではなく、社会全体や、教育行政の仕組みとして対応する必要があると捉えている。

Q 経済的負担により、多様な学びの確保が困難になっている現状がある。諏訪市が今年度から実施する、「フリースクール等利用児童生徒支援補助金」などの支援制度を町でも導入を。

A 教育長 フリースクールの運用支援は、県が認定制度を用いて



全ての子ども達に多様な学びの確保を

今年度から開始。利用者支援は、各自自治体を実施検討させる旨の通知が、4月に県から発出。町内児童生徒のフリースクール利用状況、支援可能な範囲、県内先進事例の運用状況を確認し、導入に向け研究を行っていききたい。本来は、国が全国一律の支援制度を実施すべきであると考えている。今後、県や国にも要望していききたい。

農業振興



まつい せつお
松井 節夫



農地の利用状況は

答弁 農地全体のうち約23%を利用

Q 食料自給率の向上は。農家への支援策は。

A 産業振興課長 イオンへ直接出荷を手伝うなど。農業祭、イベントや朝市も開催している。

Q 有機栽培推奨と支援はできないか。

A 産業振興課長 オーガニック野菜は人気だが、コストがかかる。有機栽培希望者はいないが、農家の声を聴き進める。

Q 学校での町内農産物の使用は。
A 産業振興課長 R5年は小学校へじゃがいも、玉ねぎなど野菜1800kg、りんご780個。双方にメリットがある。

Q 有機栽培や遊休農地利用で農業をやりたい人を呼び寄せ、農業と町の活性化を図る施策は。

A 町長 町民菜園を増やし飲食

店に町内産を利用してもらう。

道路の安全について

Q 通学路の安全点検結果は。
A 建設水道課長 10か所の対策が必要。順次整備を進めている。

Q 春宮横の通学路は木の根っこが出て危険。転んだ子もいる。

A 建設水道課長 チップを敷くなど大社と協議している。



木の根っこで危険な通学路



かない けいこ
金井 敬子



職場環境

Q コンプライアンス対策の一環として、ハラスメント対策の必要性について、どう考えるか。

A 総務課長 職員の知識と認識を、深める必要がある。

Q ハラスメントを原因とした職員の退職はなかったか。

A 総務課長 中途退職者は、R元年4人、R2年3人、R3年8人、R4年12人、R5年8人。退職理由は結婚や転職が主で、ハラスメントが原因の退職はない。

Q 「町職員のハラスメントの防止等に関する規程」にあるハラスメント相談窓口や処理委員会に、第三者を加えるべきでは。

A 町長 基本的には組織の中で対応する。

ハラスメント 防止宣言を！

答弁 宣言や条例について研究する

Q 4月に設置された「こども家庭センター」は、教育こども課内に設置。相談スペースがないことで、支障が生じていないか。また、町民への周知不足では。

A 教育こども課長 文化センター内会議室、ぽけっと、保健センターを使うなど、現在のところ支障はないが、今後相談スペースは要検討。更なる周知に努める。



新年度更新された教育こども課案内看板



はやし もとお
林 元夫



2拠点居住

Q 東京などと地方を行き来して生活する「2拠点居住」志向が若い世代を中心に高まりを見せている。2地域居住を推進する市町村は、居住用の空き家の改修、コワーキングスペースの整備など財政面でも支援が得られる。「ワークテラス」などの施策は首都圏に近い下諏訪町にとっても有効だと考える。町の考えは。

A 産業振興課長 コワーキングスペースは諏訪圏域でも増加している。2拠点居住者の受け皿となつている。「ホシメバ」の入居募集でも入居対象にした。テレワーク支援としても推進し、町内定住を促進したい。

Q 二十歳を祝う会の開催は5月にならないか。

A 教育こども課長 出初式と重なる場合は、時間帯を調整するなどしたい。

ワーキングス ペース拡充を

答弁 テレワーク支援としても推進する

なる場合は、時間帯を調整するなどしたい。

ふるさと納税活性化を

Q ふるさと納税の返礼品の拡充や旅先での決済など積極的な取り組みを。

A 総務課長 返礼品として新たに31件が認められた。これからも拡充を図っていく。



ホシメバのワーキングスペース

一般質問

住民要望



はなおか
花岡 すすむ 進



コロナ医療費 町独自補助を

答弁 高額療養費制度
あり助成はしない

生活道路の安全対策

Q 下諏訪町通報システムの利用
状況は。

A 建設水道課長 軽微なものは
町職員がすぐに対応している。

Q 障がい者、高齢者、子どもの
ために歩道の計画的整備は。

A 建設水道課長 町にも要望が
上がっているので対応する。

交通弱者の支援策

Q 福祉タクシー券の助成の引き
上げは。

A 町長 循環バス券、公衆浴場
券と併せて研究したい。

Q バス停へのベンチ設置は。
A 住民環境課長 今年度に調査
して検討したい。



4路線を毎日運行するあざみ号

チヨイソ



のぞわ ひろこ
野沢 弘子



利便性の高い 交通手段を

答弁 高齢者の移動手
段に有効

Q オンデマンド交通「チヨイソ
コ」の調査研究は。

A 住民環境課長 高齢者の移動
手段に有効などメリットがある
が、デメリットもある。

Q 町長の考えは。

A 町長 他地域の成功事例がそ
のまま、当町に当てはまるもの
ではないが、検討の必要がある。

火災発生時の情報提供

Q 火災発生時の広報がなく、火
災を知らずにいた御近所の高齢者
もいた。情報共有の方法は。

A 消防課長 防災行政情報配信
サービス「しもすわインフォ」、広
域消防本部では災害テレフォンガ
イドで情報提供している。

中高生の海外研修事業



利用者増のチヨイソなかがわ

Q 研修費用の半額（R5年度は、
26万5千円）が負担金となるが、
クラウドファンディング・企業版
ふるさと納税などの活用で、負担
なく研修参加はできないか。
A 町長 保護者の経済的負担軽
減で、多くの子どもさんがチャ
ンスを活用して、チャレンジでき
る提案。研究課題にしたい。

男女平等



あおき としこ
青木 利子



Q 本年度の男女共同参画週間町の取り組みは。

A 総務課長 6月18日から30日に町図書館でパネル「なるほどジエスター」を展示。また後日、町民に向けてセミナーを計画。

Q 女性課長の増は。

A 町長 課長10人中1人、係長43人中12人が女性。管理職登用は能力に応じて優秀な人材を登用する。

Q AI活用と、その部署への女性登用は。

A 総務課長 町の状況は県で共同化している会議録チャットGPTログミーツの使用の拡大を期待。AI関係への女性登用は性差がないように個々の知識・専門性を考慮する。

女性課長の登用増は

答弁 性差に関係なく能力に応じて登用している

力に応じて登用している

外国人観光客との調和

Q 町民と外国人観光客との調和はどう考えるか。

A 町長 第3次観光振興計画を周知し、おもてなしを参考に情報を共有するなど、町全体で受け入れる。課題もあるが対応しながら改善する。



町図書館でのパネル展

新観光開発



おおはし かずこ
大橋 和子



Q 新たな観光素材の開拓や旅行商品の開発について具体的な構想はあるか。例えば赤砂崎公園での係留熱気球祭りは。

A 町長 持続可能な観光地域を計画。一過性でなく、息の長いものが必要で、みんなが楽しめることは応援する。

Q 持続可能な観光地域づくりは。

A 産業振興課長 観光振興局では人材の育成と確保。情報共有と意見交換で観光基盤を作る。

Q 文化遺産を利用したオンラインワンの魅力発信は。

A 産業振興課長 縄文時代の黒曜石が採れた唯一無二の観光体験プログラムで受賞した。付加価値を高めて一層の誘客を図りたい。

Q 長和町の黒曜石を使ったペンダントやキーホルダー作りを、町

観光イベントの推進について

答弁 皆が楽しめることは応援したい

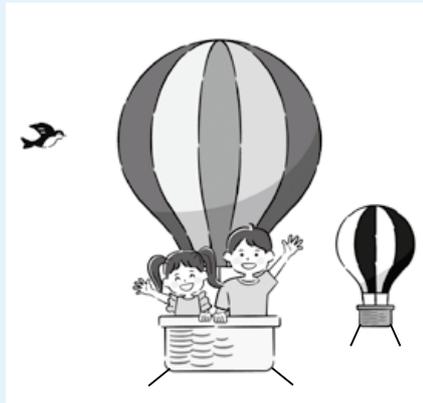
とは応援したい

でも採用できないか。「温泉むすめ」の土産品を増やす工夫は。

A 産業振興課長 地産地消、万治の食べ歩きチケットなど、旅の楽しみの一つとして大切なこと。模索していきたい。

Q 滞在型観光の促進を。

A 産業振興課長 限りある宿泊施設を選べるプランで展開中。



係留熱気球のイメージ

一般質問

再犯防止を



なかやま とおる
中山 透



再犯防止計画の策定時期は

答弁 R6年度から取り組みたい

Q 再犯防止推進計画の策定状況は。

A 住民環境課長 策定の前段階として、情報収集、統計値の収集を行っている。

Q 庁舎内での策定に対する横断的体制はいつ頃になるか。

A 住民環境課長 勉強会に参加し、情報共有の後になる。

Q 策定委員会の設置はいつ頃になるか。

A 住民環境課長 来年度を予定、保護司会等関係団体をお願いしていく。

Q 計画策定の問題点は。

A 住民環境課長 再犯者が増えている。生きづらさを背景にした犯罪も多いことを考慮しなければならぬ。

Q 問題に対する対応は。



法務省HPより

A 町長 近隣自治体の策定に合わせるのではなく、当町の課題を踏まえ、町にとって実効性のある計画を作ることが1番大切。

Q 当町の計画は単独計画なのか。

A 住民環境課長 地域福祉計画との整合性も必要なので、福祉計画の策定と共にR7年度の策定を目指す。

温暖化対策



はやし よしひろ
林 吉広



ゼロカーボン進捗状況は

答弁 ソフト・ハード両面で活発に推進

Q ゼロカーボン宣言後の進捗状況は。

A 住民環境課長 太陽光発電や庁舎内LED化や省エネ化に向けての補助の拡充、イベントの開催や小中学校でのゼロカーボン学習など、ソフト・ハード両面にて積極的に推進中。

Q ゼロカーボンサポーターの活動状況は。

A 住民環境課長 6月1日現在で102件の登録があり、情報共有イベント参加など活動中。

Q 今後の活動は。

A 町長 日々進行する温暖化対策に子供も大人も一緒になって取り組む環境づくりを。子どもたちが楽しみながら、遊びながら推進できるサポーター制度を整備したい。

消滅可能性自治体脱却

Q 消滅可能性自治体からの脱却の要因は。

A 総務課長 各種施策を継続して取り組んでいること。

Q その要因についての見解は。

A 町長 多くの方々から当町を生活の場を選んでいただいた。魅力を高め、住みたい町を目指したい。



私もゼロカーボンサポーターとして！

地域の安全



とよしま 豊島 健之



山・川の安全と対策状況は

答弁 山林の間伐 河川改修は県へ要望

Q 七区山林の斜面で、表土が崩落したり、根っこごとの倒木、倒木の河川への流入が目立つが、山林や河川の安全性と管理対策は。

A 総務課長 災害への備えとしてまずは、ハザードマップと地区防災マップより身近な危険箇所を承知すること。そして災害から身を守るために、防災気象情報を積極的に入手し、迅速な避難行動を取ることが重要である。

A 産業振興課長 山全体の安全性と対策については、間伐が重要な作業となる。七区の森林整備計画は昨年度で一旦終了したが、今年度は再樹立の年度であり、新たな5カ年計画を策定して、引き続き進めていく。

A 建設水道課長 福沢川は1級河川につき、河川改修や修繕等は



斜面中央部から表土が崩落している

県に要望を上げることになる。東山田砂防ダムの機能性を案ずる声や、ダム直下の護岸改修の要望は、町も承知している。県に対する随時の改修要望や県事業に係る市町村要望ヒアリングの機会にも再度要望を上げている。また福沢川に近接する銚物師沢についても、砂防堰堤を設置してもらうよう新たに要望を上げていく。

不登校支援



たかはし 高橋 幸二



不登校生徒に対し支援策は

答弁 今年から予算化し教育相談強化

Q 町内の不登校児童数について町はどのように捉えているか。

A 教育長 それぞれの子どもに寄り添い、個々に応じた支援を考へ続けることが大切。

Q 生徒への居場所づくりは。

A 教育長 「みんなの遊び場」を長期休業時に開設している。

Q 多様な支援の町の考えは。

A 教育長 「学びの支援サポートブック」(仮称)の作成を計画中。

Q 学校・地域・関係機関との連携・共同は。

A 教育長 年2回、校長・民生児童福祉委員保護司の皆様と「いじめ等対策連絡協議会」を開催。

予防接種の在り方

Q 保護者の負担軽減が必要だが町の考えは。



南小近く老若男女が集う居場所改装中

A 保健福祉課長 子育てアプリ「母子モ」を活用することで予防接種スケジュールを管理できる。

湖畔の足湯管理は

Q 苔が生えていたが、清掃状況と、今後の清掃方法の変更は。

A 教育長 週3回、清掃を行っている。より強力な高圧洗浄機を使用し改善していく。

意見書

7件の意見書案が提出されました。
意見書案は、すべて可決され、関係省庁等に送付します。

請願より

訪問介護の基本報酬が引き下げられ、在宅介護が継続できない。引き下げ撤回と引き上げの再改定を国に求める。



提案者 生活文教常任委員会

陳情より

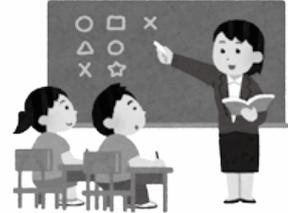
義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を国に求める。



提案者 生活文教常任委員会

陳情より

さらなる少人数学級推進と教員増のための予算確保を国に求める。



提案者 生活文教常任委員会

陳情より

へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すことを長野県に求める。



提案者 生活文教常任委員会

国の制度として、18歳までの医療費窓口負担を無料にすることを国に求める。



提案者 生活文教常任委員会

女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を国に求める。



提案者 竹元 完奈

能登半島地震に係る被災地の復旧と被災者の生活再建支援を国に求める。



提案者 松井 節夫

請願・陳情・意見書とは？

請願を受けての意見書

陳情を受けての意見書

議員提案の意見書

国や地方公共団体に要望や意見を上げていくことであり、請願は、紹介議員を伴う。

6月定例会 議案等賛否一覽

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ表示しています。

議員名(議席順)	議案名等(省略)	議決等結果	樽川 信仁	高橋 幸二	林 吉広	花岡 進	竹元 完奈	大橋 和子	金井 敬子	豊島 健之	野沢 弘子	松井 節夫	中山 透	青木 利子	林 元夫
	令和6年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○
	訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○
	訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○
	国の制度として、18歳までの医療費窓口負担を無料にすることを求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	○	○

賛成者は「○」、反対者は「×」とします。議長は採決に加わらないため、「斜線」としています。

この町に住んで思うこと

大学進学を機に上京・就職しましたが、7年前に戻ってきました。20年前と比べると人も店も減って、町の活気も少し無くなった感じがしますが、下諏訪に縁もゆかりもない方々が移住して頑張っているのを見ると、「数多ある町の中から下諏訪を選んでくれてありがとう」という感謝で一杯になりますし、この町にはまだまだ魅力があるんだと嬉しくなります。

町が良くなるよう行政も大変頑張ってくれていますが、行政主催の会議では、立派にできあがったプランを伝えられて終わりという一方通行の関係になりがちなのが残念です。まちづくりは、行政と町民が一緒に作り上げていく双方向の関係が望ましいと思いますので、議員の皆さんがその仲立ちになってくれたらと思います。



有限会社新鶴本店 代表取締役社長
河 西 正 憲

インタビューー豊島

紙面リニューアル

広報特別委員会では、研修視察を行うなど、より良い紙面づくりに励んでいます。どのようにしたら読みやすく、興味を持っていただけるか。手作りの議会だよりを心がけてきました。議会だよりモニターの皆様にもお世話になりながら進めています。

現在の委員で編集を始めて1年が過ぎ、変えてみよう！と話し合いました。読んでいただけたら幸いです。



編 集 後 記

近年、四季の風情を見失うような夏の暑さに私たちの身体も悲鳴を上げています。下諏訪町でも地球温暖化対策として、プラスチック分別回収が、いよいよ来年度から始まります。新生議会では新人議員が5人加わり、平均年齢が70歳から60歳10ヶ月に若返りました。私も9歳若返った感覚で、頑張ります！

のぞわ菜っちゃん

広報特別委員会

委員 長	林 元夫	委 員	高橋幸二
副委員長	竹元完奈		大橋和子
			豊島健之
			野沢弘子

次の定例会は

8月27日(火) 開会予定

※日程は変更になる場合があります。
詳しくは下諏訪町議会ホームページへ



SNSはじめました!



←Facebook

Instagram→

